

えくてびあん

11

立川と語ろう 立川に生きよう
NOVEMBER 2002
EKUTEBIAN Vol.21 No.220



砂川深層

9

案内人・豊泉喜一
写真・五来孝平



錦秋の五日市街道。
昔はこの景色がどこ
までも続いていた。



かつて街道の主役であった樺も
今日では淋しげ。

砂川のもぐら街道

五日市街道は何時頃、開通したのであろうか。種々の文献から、江戸時代初期ではないかと考察されている。

岸村（現・武蔵村山市）の村野三右衛門が砂川の開発願を出したのも丁度おなじ頃で、砂川の開発と共に三百九十年余りの歴史を五日市街道は歩んできた。この道は伊奈石の産地・伊奈宿の石工たちが、江戸城築城に通った道であり、また、江戸市中に燃料の薪や木炭を運ぶ輸送路として発達したものである。当時は「伊奈道」「江戸道」と呼ばれていた。その後、隣の五日市宿が物資流通の拠点として栄え、それに伴い街道の名称も「五日市街道」になったのである。

明暦三年、街道に沿って玉川上水から分水が引かれ、そこに砂川村が誕生した。爾来、この街道の両脇に開拓農民が屋敷を構え、砂川は典型的な街村として発展、それぞれの家が防風林として樺や榎を植えることにより、見事な屋敷林を形成していった。そのため、夏の五日市街道は両脇の屋敷林が鬱蒼と街道を覆い、昼でも薄暗いほどであった。もぐらの穴の中を通っている感じがするといふので、「もぐら街道」とも称されていたという。かつては、樺並木のトンネルが延々と続き、春は新緑、夏は深緑、秋の紅葉と、四季の情景が街道を彩ってきた。

今に伝承される砂川音頭に「おらが名物数々ござる、麦にさつまに樺の並木」と唄われ、砂川のシンボルとも云われた五日市街道の屋敷林は、都市化が進むにつれて次々に姿を消し、「もぐら街道」の面影は観られなくなってしまっている。

この街道には他にも、砂川道、長新田道、小金井道、五日市道、青梅街道脇道、青梅街道裏道など、様々な呼び名があり、多くの人の往來を助けてきた。

このような並木の姿は何時まで観られるのだろうか。僅かではあるが、もぐら街道の面影が今も残っている。
(国分寺市並木町)





「紙は文化のバロメーター」 つて、まだ生きてるんです

(株)立川紙業代表取締役社長 西澤 美弘さん

杉山 パソコンが普及し出したとき、ペーパーレスと盛んに騒がれましたけど、実際のところはどうなんですかねえ。

西澤 私たちもあれには随分と脅かされました。でも紙の消費量は逆に増えてきているんですよ。

杉山 へえ、増えているんですか。

西澤 パソコンの画面で見れば、それと間に合はずだったんですけど、それをまたプリントして見たいという世代がいる。

それと、何かの事故があったら困るというので出力して保管してみたり、いろんな人に資料を回覧する場合にはプリントアウトをする。

杉山 パソコンのマニュアルなんてのも、数多く出てますしね。

西澤 そうそう。近年、携帯電話の普及も目覚ましいじゃないですか。あれのマニュアル本がまた凄いですよ。紙の製造が間に合わないなんて時期もありましたよ。



■西澤美弘(にしざわよしひろ)／昭和16年生まれ、三重県出身。中学・高校とサッカー部に所属。スポーツ三昧の青春を送る。三重県の代表に選ばれ、全国大会出場経験を持つ。就職難の中、昭和34年、高校卒業してすぐにポストンバックひとつで上京。都内の紙問屋「丸加用紙店」に居候して勤務。やがて立川に移り住み、昭和45年、縁あって立川の名士・五十嵐栄治氏創業の(株)立川紙業に入社。三多摩を中心に幅広く紙の流通業に専心。現場での叩き上げの末、同社代表取締役社長に就任。気さくな人柄で知られる。

■杉山清純(すぎやまきよすみ)／本誌編集部。

ルプを用いますよ。ほぐして色々な紙に再利用できます。

杉山 ああ、よく紙漉き体験とかやってますよね、牛乳パックを溶かして。

西澤 新聞なんかも回収してますね。再生できるのは5回なんて云われてますがね。脱墨設備でインキを取り除いて、その中から紙にできる繊維だけ拾い出すんです。その技術でも日本は秀でていて。杉山 新聞紙からはどのくらいの繊維が取れるんですか。

西澤 あれは25%が限度でしょうね。

杉山 その残りの部分については、どう



ういう風に処理されるんですか。

西澤 だいたい、焼却処分ですね。でも製紙メーカーは、自分のところにボイラー設備を持っていて、その燃料にしていますね。

杉山 無駄なく利用しているんだ。でも一方では古紙も輸入してますよね。

西澤 将来は国内で消費する分くらいは賄えるくらいになると思いますよ。パルプは元来、樹木を原料にしているんですけど、一般的な木の成長は30年周期くらいなので8年でパルプにできますよ。一時期、森林伐採が批難されましたね。1本のパルプを作るのに10本の木を切るとかって云われてましたけど。確かにそういう時代があったんですよ。でも、今は違います。日本の木材の輸入量は多いんですが、木の真ん中のいい所は、全部建築資材です。端の方をパルプで使う。

杉山 つまり、廃材を使っているの。

西澤 そうです。間伐材とか、廃材ですね。私も時々、製紙工場を見に行くんですけど、10年以上前は、確かに製紙工場には材木が積んでありましたよ。もった

たよ、製紙メーカーでね。昔から、「紙は文化のバロメーター」つて云われてますけど、面白いことに日本のGNPの伸び率と、紙の消費量の伸びはほぼ比例しているんです。最近では、GNPが下がってますから、紙の消費も落ちてきてますがね。まさしくGNPと同じ歩みをしてます。

杉山 文化のバロメーターと云われている紙ですが、色々ありますよねえ、紙にも。何が影響を与えているんですか。

西澤 日本で年間に消費されている紙は3千万トンくらいです。その中で一番多いのは、なんとつても新聞です。新聞紙の国内年間生産量は、たしか380万トンほどですね。

杉山 しかし、これほど文盲率が低い国つても珍しいですよ。その分、紙の消費量は多いんでしょうね。

西澤 日本における紙の生産量はアメリカに次いで2位。消費量については、中国に続いて3位ですね。国民一人当たりの消費量は5位。日本は、だいたい年間一人240kgもの紙を使っているんです。ところが、中国では年間17kgだったかな。でも人間の数が多いですよ、13億人くらい。だから、トータルすると多いんです。これから中国での消費量はどんどん増えるでしょうね。

杉山 話に聞いたところでは、中国の紙は、非木材のパルプを使っているそうですね。

西澤 仰るとおりです。今は、様々なものがあります。藁、他、パピルス、ケナフ、竹パルプなどですね。中国はその中でも竹が多いですね。植物つていうのは、大概繊維がありますでしょ。厳密にいうと、紙は繊維質のものであれば何からでもできるんですよ。

杉山 昔の文庫本なんて、日に焼けて、真黄色になっちゃって。

西澤 あれは確実に酸性紙ですよ。杉山 でもそれが妙に味があつたりしますよね。

西澤 そうそう。でも中性紙といえども保存できるのは百年がいいところじゃないですかね。それよりも、感心するのが実は和紙なんです。古文書なんか何百年も保存できている。

杉山 和紙は何が優れているんですか。

杉山 もともと紙の起源つていうと、パピルスになるんですか。

西澤 パピルスつていうのは、ナイル河流域に自生しているパピルスという植物を重ね合わせて作られたものなんですけれど、我々の意識では、紙の起源は中国ですね。蔡倫という人が発明したとされています。どうやらボロ布や綿などを混ぜ合わせて作ったつていうのが、紙の起源と云われているんですよ。

杉山 つまり、現代の紙の製法の基になったという意味で一番古いということですね。

西澤 そうです。中国の蔡倫は、蜘蛛の巣の構造をヒントに紙を発明したつて聞いてます。今の紙の製法とよく似た考え方で紙を作ったという点では、確かに紙の発明者に値すると思いますよ。

杉山 近年、省エネとか、エコロジーとか盛んに叫ばれていますけど、ペーパーレスもそうでしょうけど、紙資源を有効に使おうという動きがありますでしょ。

西澤 東京都のゴミの半分は紙、だなんて、紙がゴミの凶器みたいに云われたことがあるんですよ。その紙を再利用するため、古紙の回収率を上げようという試みが始まりました。その回収率は55%くらいです。紙の資源と違つて、再生のきく資源です。再生紙つていうのは、古紙を使用したものを云います。

杉山 逆に身近に手に入る無垢の紙という何ですかね。

西澤 牛乳パックがありますよね。あれは、100%パージンパルプを使っているんですよ。それは食品に使用するからという他の他にはやはり丈夫ですから。ちょっと粘りがある、針葉樹を使ったいいパ

紙は和紙の主な原料ですよ。これは繊維が長く丈夫という特性がある。今でも紙幣などに使われています。

杉山 繊維自体が優れているんだ。

西澤 紙幣をズボンのポケットに入れたまま、うっかり洗濯したことつてないですか。でも、溶けてくならないですよ。普通の紙だったら確実に溶けますよ。それに紙幣は折つたり、曲げたりしますね。でも、あまり切れない。木材の場合は、その芯を原料として使いますけれども、楮や三又なんかは樹皮を使っているんですよ。だから丈夫なんです。

杉山 それはどういう所で栽培されているんですか。

西澤 たしか四国地方に多いと聞いてます。あれは、やたらと生産ができて、多少管理されて生産されているんですよ。どれだけ畑に植わつていて、どれだけ収穫できたかつてね。入手にくい原料です。

杉山 なるほど、原材料についても紙幣の偽造が出来ないよう管理されているんですね。徹底してるなあ。

西澤 三又つていう植物があるんですが、これが和紙の主な原料ですよ。これは繊維が長く丈夫という特性がある。今でも紙幣などに使われています。

杉山 繊維自体が優れているんだ。

西澤 紙幣をズボンのポケットに入れたまま、うっかり洗濯したことつてないですか。でも、溶けてくならないですよ。普通の紙だったら確実に溶けますよ。それに紙幣は折つたり、曲げたりしますね。でも、あまり切れない。木材の場合は、その芯を原料として使いますけれども、楮や三又なんかは樹皮を使っているんですよ。だから丈夫なんです。

杉山 それはどういう所で栽培されているんですか。

西澤 たしか四国地方に多いと聞いてます。あれは、やたらと生産ができて、多少管理されて生産されているんですよ。どれだけ畑に植わつていて、どれだけ収穫できたかつてね。入手にくい原料です。

杉山 なるほど、原材料についても紙幣の偽造が出来ないよう管理されているんですね。徹底してるなあ。

石原薬局	柴崎町2-10-3 523-4067
豆腐 やざわ屋本店	柴崎町2-10-14 522-4338
ファンダーグストア Sun Create	柴崎町2-10-16 548-8618
サイクルハウス 輪輪館	柴崎町2-12-17 522-8100
ビジネスHOTEL クボタ	柴崎町2-12-23 522-1122
いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24 526-2947
いなりすし・のり巻きすし 松月	柴崎町2-17-20 523-4758
カフェテリア 木の葉	柴崎町2-17-23 522-9251
クリーンデンタルクリニック	柴崎町2-21-12 527-1137
ビューティーサロン ウィスタリア	柴崎町2-21-15 527-1116
ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3 522-3928
とんかつ専門 かつ亀	柴崎町3-5-2 525-7647
紙匠 雅	柴崎町3-5-11 548-1388
サンカメラ	柴崎町3-7-22 522-3336
バックージュプラザ カサイ	柴崎町3-8-7 522-8601
あさひ銀行 立川支店	柴崎町3-10-1 522-4161
手打ち ぎょうざ工房	柴崎町3-11-25 522-4770
松山堂薬局	柴崎町3-13-25 522-2550
こむろ酒店	柴崎町3-14-3 522-2613
矢沢歯科眼科	柴崎町3-16-2 525-6600

えくてびあんの輪

人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん!
リストのお店にはいつでも、えくてびあん!

今月は柴崎町・富士見町・砂川町・柏町・泉町・曙町のお店です。

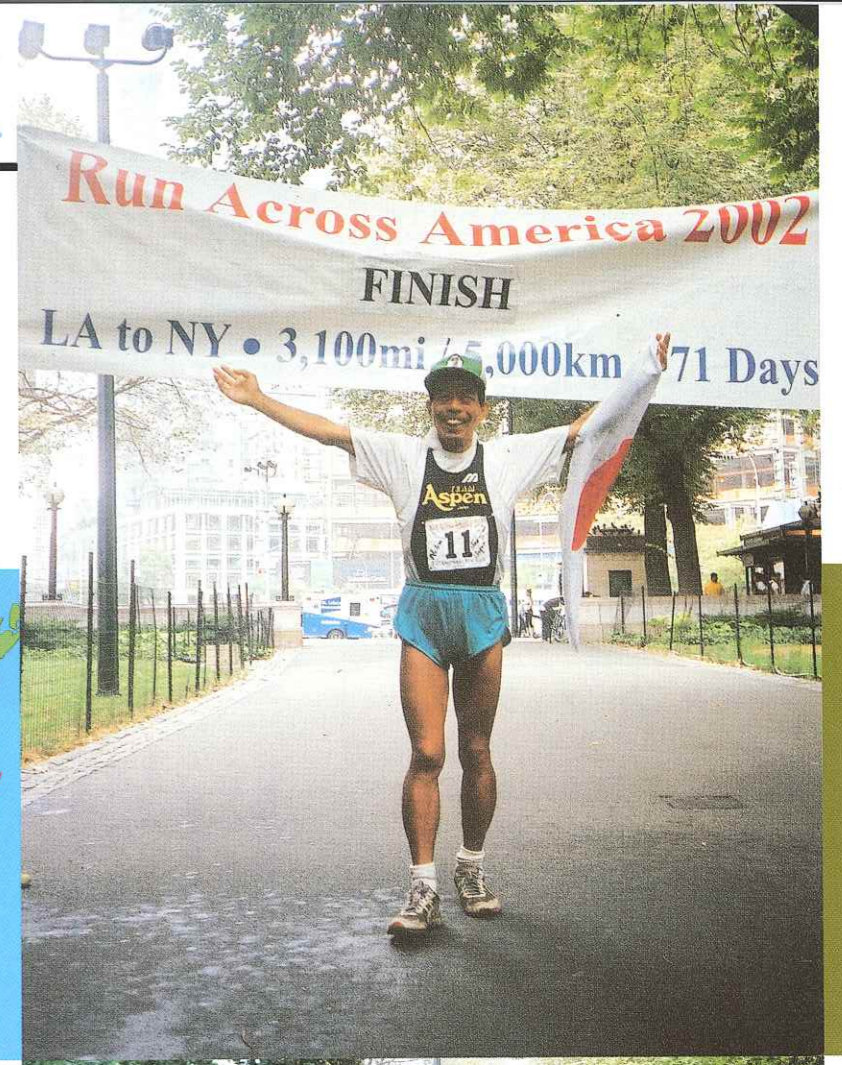
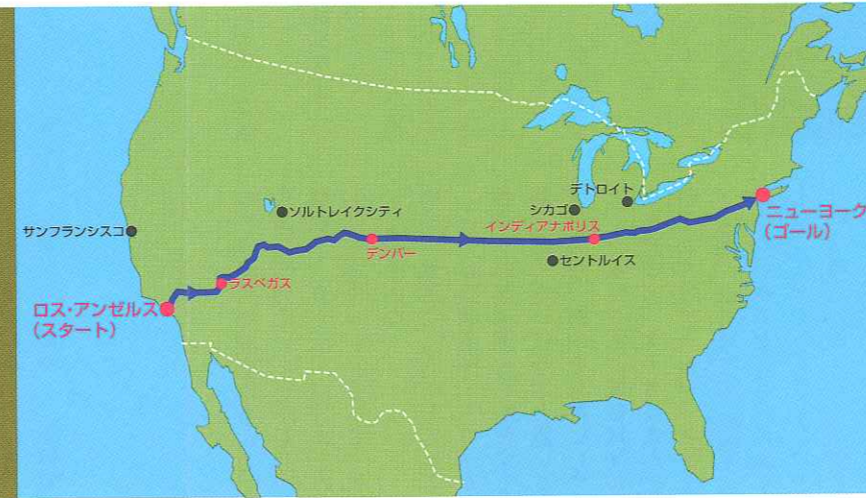
榎本薬局	富士見町1-31-18 526-2322
手作りケーキ店 プティパニエ	富士見町1-31-19 529-8364
立川市歴史民俗資料館	富士見町3-12-34 525-0860
酒 ESPOA おぎの	富士見町4-17-7 522-4500
株式会社 一如社	富士見町5-1-7 527-2211
株式会社 立川印刷所	富士見町5-6-15 524-3268
SHOP99 立川富士見町店	富士見町6-15-3 540-1799
JA経済センター立川店	砂川町2-44-3 536-1824
JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3 536-1821
沖縄料理・古酒 KINGS CROSS	柏町3-1-2 536-1774
ペーカリー リオンドール	柏町3-3-5 535-4882
うなぎ専門店 うなちゃん	柏町4-61-13 536-6240
レストラン&BAR WEST PORT	柏町4-64-3 536-4569
やきものギャラリー 陶庵	泉町935-1 528-7761
東京消防庁立川消防署	泉町1156-1 526-0119
和菓子・甘味処 甘泉堂	曙町1-14-12 522-4305
不動産 大晋商事	曙町1-23-9 525-3110
蕎麦懐石 無庵	曙町1-28-5 524-0512
ピストロ シェ・タスケ	曙町1-28-14 527-5959
あら井鮎総本店	曙町1-30-13 522-2957

前号『対談』登場の下島伸介さん(若葉町)は、世界最長のマラソンレースとして知られる『ラン・アクロス・アメリカ2002』に参加、なんと全長5,000km、アメリカ大陸のほぼ中央部を71日間かけて走りきるといふ快挙を成し遂げた。宿泊を重ねながらのマラソンはジャーニーラン(走り旅)と称される。国内はもとより、海外での走り旅の経験もある下島さん、会社を勤め上げて自由な時間が持てたら、このレースに出ようとずっと心に決めていたという。57歳、積年の夢の軌跡がここに……。

Run Across America 2002

これぞ走り旅

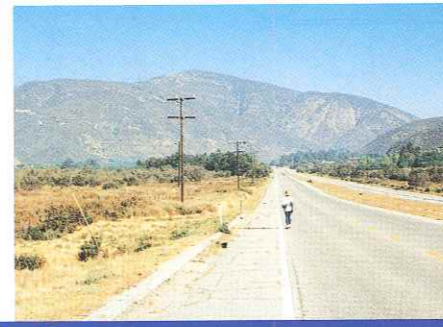
アメリカ大陸横断走



主催者のアラン夫妻は、よく部屋を訪れ、気さくに声をかけてくれた。左はサポートとして同行した下島夫人。



LOS ANGELES ▶



DENVER ▶



INDIANA POLICE ▶



NEW YORK

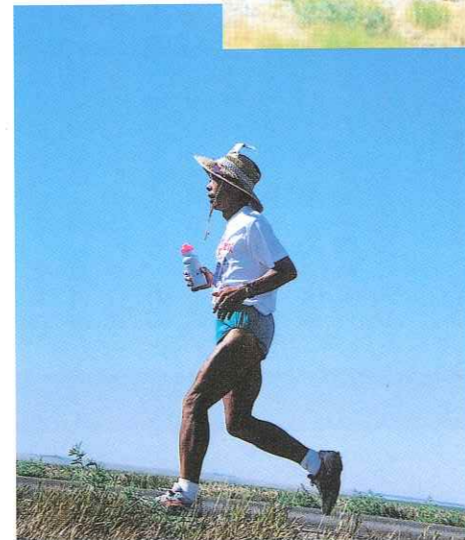


延々と広がる大自然の中をただひたすらに走る、走る。



今回の大会参加者は11名(内、日本人9名)。完走したのは8名(内、日本人7名)。結果、下島さんは4位でゴールラインを跨いだ。記録は、631時間28分であった。

フリーウェイ(高速道路)の路肩を走ることしばしば。



表紙の人 **小室 藍香さん**
(柴崎町)

今日、俳句人口は300万人とも500万人ともいわれている。立川市でも「市民俳句会」がある程に盛んである。

小室藍香(こむろあいら)さんは柴崎町の俳人。いまは亡きご祖父の指導によって、小学5年生よりはじめたというから、相当な俳歴になる。昭和58年に俳句結社『ホトトギス』に入門する。結社主宰・稲畑汀子に師事。平成2年度『朝日俳壇賞』に選ばれる。『ホトトギス』同人。『むさし野ホトトギス』『藍香の会』などで選者として指導。

(於・昭和記念公園/撮影・細江英公)

東風

暖冬だそうである。11月は寒い日が随分あって、先行き心配されたが下旬の長期予報で、東日本は暖かな冬になりそうだという。9日の土曜日、北口の駅前を歩いていたら、チラッとではあるが雪らしいものが降りてきたような気がした。周辺の人に話すと、誰も気づいていない。もしや「初雪」かと、気象庁に電話を掛けた人がいたそうである。答えていわく、もし降ったとしてもそれは「初雪」とは認められない、「あなた」の初雪として大事にしてください、と◆たかが「紙っぺら」かも知れないが、されどである。ペーパーレスの時代などと云われて久しいが、紙の消費量は伸びているのだそうである。一時、電子仕掛けて画面に文字が表れて、本一冊が丸ごと入っているのがあったが、最近は見かけなくなった。西澤美弘さんのように本業として毎日扱っていると、うんざりする程になるかも知れないが、紙のもつ簡便性を人類はそう簡単には棄てられないであろう。本は「手ざわり」でも読んでいる◆今月号も大幅な遅れをとってしまいました。深くお詫び申し上げます。11月号はどうか、のちに励まされながらの取材でしたが、元のペースに戻せぬまま。陳謝◆えくてびあん 興もなき夜の 蕎麦湯かな

【第三次えくてびあん同人】
編集 大久保清志/小林康史/杉山清純/
芳賀敏博/山田五郎
デザイン 池田隆男/AMNET DF
写真 五来孝平/宮保大輔

えくてびあん 11月号
第21巻 通巻220号
平成14年11月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065
編集人 立井啓介
発行人 瀬尾勤三
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

Topics トピックス

抽選で、25組50名様をご招待。 A CHRISTMAS HEARTFUL of JAZZ 2002

ほのかに香るワイン片手に心地よいジャズに耳傾ける…。
聖夜にきらめく立川の街で、TOUCH Music Music実行委員会が贈る熱い冬の一夜をお楽しみください(当日は、ワイン・ソフトドリンクの無料サービスがございます)。

日時：2002年12月27日(金)
19:00 開演
会場：多摩中央信用金庫本店9階談話室
(立川駅北口徒歩3分)

演奏：土井孝幸スペシャル・クインテット
土井孝幸(b)、下田卓(tp)、古川奈都子(p,v)、
海付豊(ts)、平林義晴(ds)

主催：TOUCH Music Music実行委員会
共催：立川商工会議所、立川市商店街振興組合
連合会、立川観光協会、立川北口駅前大
通り商店会、(有)えくてびあん、真如苑
たま広報センター マーレ

協賛：オリオン書房、ヤマハ立川店

応募方法：往復はがきに、住所・氏名・年齢・
電話番号、同伴者1名の氏名・年齢を明記の上、
下記までご応募ください。尚、当選者の発表は
招待状の発送をもってかえさせていただきます。
〒190-0012 立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TMM実行委員会 JAZZ 係

メ切り：2002年12月14日(土) 当日消印有効
問合せ：TMM実行委員会
TEL：042-523-9898 (担当/瀬尾)



A CHRISTMAS HEARTFUL of JAZZ 2001



お菓子工房 Ciao チャオ

- 錦町 5-19-9 ● 523-6350
- 11:30 ~ 19:00 (ランチ 11:00 ~ 14:00)
- 水曜定休
- テーブル12席、カウンター5席
- 店内禁煙 ● Pあり(4台)

作り立てだから美味しい
この心配りが人気の秘密



(写真)クリスマスケーキ(15cm ホール) 3,000円

バイドチーズケーキ 350円
アールグレイのシフォンケーキ 360円
ケーキセット(お好きなケーキ+珈琲or
紅茶) 650円



新奥多摩街道沿いに本格手作りのお菓子工房がある。パティシエの伊倉さやかさんが腕を振るうお店だ。以前は武蔵村山にて喫茶店を営んでいたのだが、満を持して2年前の10月に実家のある立川の地に店を構えた。店内にはゆったりとした喫茶空間が設けられており、焼き立てサクサクのパイやケーキをその場で頂くことが出来る。中でもバイドチーズケーキはしっとりとした食感で、食べ応えのある一品。近隣はもとより、遠方からこれを目当てに通ってくる常連客も多いという。アールグレイのシフォンケーキ、かぼちゃのプリン等も根強い人気がある。喫茶室に置かれているピアノは、単なるインテリアに非ず。Ciaoでは月に一度、シャンソンやクラシックのコンサートが催されている。勿論、伊倉さんの手作りケーキを頂きながら生演奏を愉しむことが出来る。「作り置きはしたくないんですね。だから、ケーキはこまめに焼くようにしています。何よりもお越下さった方に作り立ての美味しさを味わっていただきたいですから…。こうした女性ならではの細やかな心配りが人気の秘密だろう。お菓子教室も定期開催されているとのこと。詳しくは店頭にて。

真味百撰 66

三か月ほど病床に伏して「世間」に出てくると、どこかおどおどする、対面恐怖症のようでもあり、世の中の光が眩しいといった面持ちであります。

大相撲でも「初日」は番狂わせが多い、おおむね、世間の目眩ましかかるのが原因でありましょう。それにしては立川の北口大通りを闊歩したときの清涼感がちょっと忘れがたいものがありました。額にそよ風をうけて颯爽と胸をはって歩いてみる。嗚呼、今日という日ははじまるのだなあ。とても感慨深いものがありました。鬱々と寝込んでいた日々がなんだか、人生の重大な時間を失ったような気分。

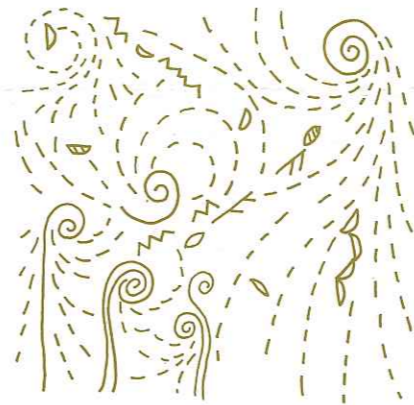
初日、と云えば実は毎日が「初日」であって、掛替えない今日という日であります。「明日がある」という歌はむかし、坂本 九という人が歌って、いままたリバイバルで歌われているようですが、私は「今日がある」と云い替えた気分になられておるのであります。

昨日でもない、明日でもない、今日という短くはあるけれども、充実した一日こそ大事。浮華文弱の精神しか持ち合わせていない私ではありますが、珍しくも「前向き」な気持ちで湧いて

てきたものであります。

一個人にとっても今日という日は「はじめての出来事」なのであります。少し大仰のようですが、人にとってもはじめて経験する日であります。

私はふと、長距離走者であった学生時代を思い出しました。スタートのピストルが鳴る、あの緊張した一瞬です。短距離と違って、これから五メートルとか一万メートルを走る長丁場なので、スタートの一瞬がそれほど大切なわけ



イラスト：綾 幸子

日新たな日、日々新たな日。

私の祖母は毎日、日の出前に起きて、生まれただけの朝日を拝む日常でした。幼い私は何故にああいう行事のようなことをするのか合点がゆきませんでした。この頃になって、あの生き方が真つ当なのだと思うようになりました。一方では病床の日々を悔いているわけではなく、本を読むことがナリワイの一部になっていく私にとって、活字からいつ時、離れたことはこれまで新鮮でもありません。天井を眺めて、来し方、行く末に思いを致す、もう自分こんな日は訪れないことでしょう。

(やまだごろう・詩人)

ゴロさんの独断毒語

今日

37

立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

多摩てばこ ネット

http://www.tamatebako-net.ne.jp/

多摩てばこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

常楽我浄

真如苑提供番組 くらげくがじょう

スカパー・フェックTV 216ch、マイ・テレビ 84ch

土 曜 午前9時～9時15分
午後7時15分～7時30分
再放送/火曜 午前9時～9時15分
午後7時45分～8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十六年

真如苑

柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

I SUPPORT YOUR DREAM
あなたの夢に具体的
あさひ銀行

デジタルえほん メモリーブックにどうぞ...

デジタルえほん
メモリーブックにどうぞ...

ミッキーやキティちゃんと一緒に...!!
あなたの写真と名前が絵本の中に入ります。

PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
大廣社 042-527-1911
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
FAX. 527-1949
E-mail dikosya@nifty.com

「どこへいこうかなあ」 (2000年)



人形 気分

さとうその子の世界 ③

とあるトイ展に、出展したときのことです。そこで人形作家のグループと知り合ったんです。今まで動く人形を手掛けたことはなかったんですが、この方たちに触発されて早速、創ってみました。でも、本格的に動かせるようになるには、もう少し技術が要るようです。私は人形の性別をあまり意識していません。青だから男、赤だから女ということはないですね。それは観られた方の感性に委ねています。



「なあに」 (1999年)